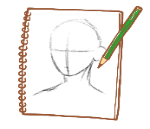
知立市立知立中学校による

オリジナル指導案



知中デザインスケッチブック

教材名(　　父の言葉（光村図書）　　)　　授業クラス(　１年各クラス　)　授業者（　　　　各担任　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| ステップ１　　教材研究を通して、「この授業だからこそ設定できるねらい」を考えよう | ①　まずは教材を読み、「あらすじ」「考えるポイントとなるところ」「自分が読んでいて考えさせたいところ」などを書きだしていこう。 |
| 父の言葉「行ってお話ししてきてあげなさい」  →今の黒柳さんはこれがユニセフの活動のきっかけだったように思う。  ・黒柳さんにとっての思いやりは、「実際に直接会って話す」こと  →相手のことを想像して動くのではなく、ちゃんと知ったうえで受け入れたり寄り添ったりすることが大切である。  思いやりのある行動は「相手のことを考えて行動すること」「相手を助けること」  →「相手のことを知って、どうしていこうか一緒に考える」「何が困っているかを聞いて一緒に考えること」などが生徒から出てくるとよい。 |
| ②　その教材を使って、どんな内容項目で授業を行うか、まとめよう。 |
| 内容項目：　B　（　６　）　思いやり・感謝  「思いやりの心」は自分が他者に能動的に接するときに必要な心の在り方である。黙って温かく見守るといった表に現れない場合もある。したがって、思いやりの心の根底には、人間尊重の精神に基づく人間に対する深い理解と共感がなければならない。  →相手のことを理解し、共感したうえで温かく見守るなら思いやりの心があるといえるが、自分勝手な推測で相手の気持ちを決めつけ、行動することは思いやりの心があるとは言えない。 |
| ③　この教材だからこそできる内容項目に沿ったねらいを考えよう。 |
| 主人公の心情を考えるとともに、「行ってお話してあげなさい」という父の言葉が、その後の私（作者）のユニセフや福祉への活動につながった理由を考える活動を通して、思いやりのある行動とは、自分一人で相手の気持ちを推測し行動することではなく、直接相手に関わっていく中で、相手を受け入れ、寄り添い、ともに生きるということも思いやりの一つであるということに気付き、相手との関わりを大切にするとともに、相手の心情や立場を考えて思いやりのある行動をしようとする実践意欲と態度を育てる。 |
| ④　授業が終わった後、生徒の感想の内容や、日常生活で期待する姿を考えよう |
| 生徒から、「思いやりのある行動をするために、まずは相手のことを知るために何か行動することが大切」という感想がでてくることを期待する。  　また、生徒が「思いやりのある行動」をするために、困っていそうな人に勇気を出して自分から声をかけ行動することが学校生活の中でできるとよい。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ステップ２　小さな道徳と、対話的な道徳の展開をデザインしよう |  | 時間 | 教師の発問・生徒の活動・生徒の反応 | 全員が参加するための仕掛け  生徒の発言に対する教師の切り返し |
| 小さな道徳 |  | １　教材の作者について知る。  ２　教材をＰ６６の29行目まで読み、発問に対する自分の考えをワークシートに記入する。  あなたが私なら、どんなことを考えて、何と声をかけますか？ | ・生徒の教材に対する興味を高めるために、作者の写真や仕事を提示する。 |
| 対話的な道徳(５０分の授業のなかで行う) | ０  １０  １５  ２０  ２５  ３５  ４５ | ３　「私」と「赤い松葉杖の少女」の役に分かれ、実際に話しかける。松葉杖の少女役の生徒は、話しかけられた時にどのようなことを感じたかをワークシートに記入する。  ４　それぞれの立場になった時に、どんなことを感じたかを話し合う。  私　　何を話していいか分からない。  少女自分に何ができるのかなって思った。  かわいそうと思われるのが余計に辛い  ５　黒柳さんがどういう思いで慈善活動を行っているかを考える。  ６　ワークシートに発問に対する自分の考えを書く。  ７　全体で自分の意見を共有する。  ・直接会うこと  ・実際に話してみること  ・まずは相手と関わってみること  ８　主発問に対する答えをワークシートに記入し、全体で共有する。  ・相手がどうしたいのかを知ること。  ・一緒に過ごして、その中で困っていることを見つけること。  ・勇気を出して話しかけること。  ９　本時の感想を書く。  ・上手くいかないかもしれないけど、まずは相  手のことを思って行動しようと思いました。 | ・話しかける場面に限定することで伝える側の受け止める側で捉え方が大きく異なり、自分の思いやりの伝わりにくさを実感させる。  ・思いやりのある行動をとる時に、生徒から出た意見に対して、実際に日常の中でできているか問いかけることで、「相手のことを全て理解したで行動する」ことは困難であることに気付かせる。  ・黒柳さんの活動に対する思いを考えることで、まずは行動して相手の事を知ることからスタートであることに気付かせる。  黒柳さんが大切にしてることは何だと思いますか？  ・「行動すること」が何故大切なのかを聞き返すことで、相手の立場に立つための第1歩が行動することであることを引き出す。  思いやりのある行動をするために、必要なことは何だろうか？  ・まずは相手と関わり、相手の現状を理解することが思いやりにつながることに気付かせる。  ・父の言葉からどのような思いやりを学ぶことができたか問いかけ授業を終える。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ステップ３　評価 | 授業で行ったことが、どのように評価につながるかを考えよう  (新たな視点が得られる・より深い考えになる・行動に移そうとする姿がある　など・・・) |
| 「相手のことを思って行動する」ということは同じでも、「失敗してもいいから、まずは行動してみる」「相手のことを知るための行動が必要である」というように、思いやりのある行動をしようとする姿が具体的に書かれてあることで、実践意欲と態度の評価につながる。 |